

日本労働組合會議が健全なる労働組合主義の大旗を高揚し我國の組織労働者を統一して以來一年余
地方的延長機関として結成された日本労働組合會議九州地方協議會の元擧ぐる第二回年度大會を巡
へた。この一年は九州地方戦線に於けるのみならず、我國の労働運動が支那の天賦時期に突入した年であ
つた。

惟も、滿洲問題に於て我國の國際聯盟退去を儀々として、是れに國際平和機構は若と動搖し、
加之に世界經濟會議は暗礁を失敗に終り、世界各國は争ひを以て、フランク經濟化の突進して、各國資本
は悉く排他的國家主義經濟の対立を以て、この國際的潮流に乘り、大難多し反動諸勢力が蠢動し、思想
政治經濟上の権威の不安に社會情勢は混沌地然として居る。

三、此行を遂ぐる資本主義の必然的帰結として、後述する如く、資本主義階級は國家主義の
看板に依つて、反動諸勢力と通謀し、必死の苦闘と足掻きを以て、資本主義の最後の延命を策する。即
ち、資本の國家主義對立の矢銳化は、内には、労働階級に最悪の労働条件を強制し、失業群の記
号する街頭へ更に多量の労働階級を遣放し、労働階級を生命の前途地に迫らせ、只此一途に労働階
級の犠牲と迫害と休つて、資本主義の延命、再選を陰謀し、外には、ガンビングに依る海外新中
場争奪の無軌道の競争、互惠條約の廢棄を依り、關稅高率對立競争を、新植民地獲得の狂業
なる抗争により、國際經濟戦争は、然に、世界武力戦争へ轉換する危機が、切迫して、労働階級の
苦難は、急角度に増大、加重する。

重工業中心の九州地方には、資本の國家主義對立激化とインフレーション政策の並行に依り
所謂、軍事インフレーション發動の、限りなき労働階級の犠牲と搾取の上に資本家の利潤は若
くも増大されて居るが、労働階級は、此の條件の下、軍需品用係以外の産業部門に於ては、殺人
的不況時代の憤念に釘付けされ、失業群は、枯死して、樹に於て、労働階級の重荷は、独り
労働階級の上のみに強制されて居る。労働階級の生活は、インフレーションに依り、断絶して、その
穿達を確保し、小得るものは、ほほい、やせて、軍事インフレーションの行詰りと共に、葉に、来る大嵐は、労働階
級の生活に根本的に破壊するであろう。

い、る労働階級の深刻なる苦難は、横たつて居る。末、今、十年の戦線には、益々多難
多難の道が、續いて居る。我々は、労働運動の最も困難なる九州地方の戦線に於て、右に講
流に媚び、國家機關を看板にして、労働階級を永遠に資本の奴隷化せしめる徒輩、並に戦
術的には、共產党と異なり、このやうな暴力に依る社會改革を夢想して居る資本主義の便衣隊
フアンシヨも、徹底的に排撃し、尤に偽裝左翼の、言論なる思想運動を、驅逐して、三に、毅然と
して、健全なる労働組合主義の大旗を、確立した。

我々は、組織労働者三千萬を擁して、全國の労働組合戦線を統一し、産業別整理へ向て確
信ある巨歩を踏み出した。日本労働組合會議の實力と信頼を、労働階級解放の大道を
拓き、資本の搾取を克服して、産業に正義を樹てる地方的部署の任務を、完全に行ひ、
益々九州地方協議會加盟団体の、親和親睦、統制と緊密に、進入して、加盟各団体に、指勵して、
未組織労働者の、教育組織に、全力を、注ぎ、眞に労働階級の生活権を、確立する。我々の、城砦
を、強化、拡大し、この國際的、反動的、戦線に、堪へ、労働組合運動の、受難を、乗り越えて、只此一
路、健全なる労働組合主義の、徹底のため、勇往邁進するものである。

昭和八年十一月十三日

日本労働組合會議九州地方協議會第二回年度大會